



# FileMaker®

## インストールおよび新機能ガイド

FileMaker Pro 10 and FileMaker Pro 10 Advanced

© 2007-2009 FileMaker, Inc. All rights reserved.

FileMaker, Inc.  
5201 Patrick Henry Drive  
Santa Clara, California 95054

FileMaker、ファイルメーカー、ファイルフォルダロゴ、Bento 及び Bento ロゴは、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における商標または登録商標です。Mac 及び Mac ロゴは、Apple Inc. の米国及びその他の国における財産です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

製品及びサンプルファイル等に登場する人物、企業、E メールアドレス、URL などのデータは全て架空のもので、実在する人物、企業、E メールアドレス、URL とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」ドキュメントに記載されます。他社の製品及び URL に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。

詳細情報については [www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) をご覧ください。

# 目次

<b>第 1 章</b>	
<b>インストールを始める前に</b>	5
このガイドについて	5
サポートと製品情報	6
更新の通知	6
ライセンスキーについて	7
必要なハードウェアとソフトウェア	7
Windows の必要条件	8
Mac OS の必要条件	8
ネットワークを使用する場合の条件	8
Web 上でデータベースを公開する場合の条件	9
他の機能を使用するための条件 (Windows)	10
他の機能を使用するための条件 (Mac OS)	11
Windows でサポートされていない機能	11
Mac OS X でサポートされていない機能	11
旧バージョンのファイルの開き方	12
FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード	12
ユーザ辞書の更新	13
ボリュームライセンスでのインストール	13
<b>第 2 章</b>	
<b>Windows での FileMaker Pro のインストール</b>	15
インストール参考事項	15
FileMaker Pro のインストール	16
FileMaker Pro の登録	17
コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール	18
Bonjour のインストールについて	18
ハードディスク上でのファイルの保存場所	19
FileMaker Pro 10 の削除、変更、または修復	20
FileMaker Pro のキャッシュサイズの変更	20
この後の作業を開始するにあたって	21
<b>第 3 章</b>	
<b>Mac OS での FileMaker Pro のインストール</b>	23
インストール参考事項	23

## 4 | 目次

FileMaker Pro のインストール	24
FileMaker Pro の登録	25
ハードディスク上でのファイルの保存場所	25
ODBC クライアントドライバのインストール	26
FileMaker Pro 10 のアンインストール	26
FileMaker Pro のキャッシュの調整	26
この後の作業を開始するにあたって	27

## 第 4 章

### FileMaker Pro のアクティベーション

FileMaker Pro のアクティベーションについて	29
インターネット経由でのソフトウェアのアクティベーション	30
電話によるソフトウェアのアクティベーション	31
アクティベーションの試用期間について	31
ソフトウェア評価版のアクティベーション	32
FileMaker Pro のアクティベーションの解除	32

## 第 5 章

### 新機能

ユーザビリティの改善	35
共有と協調	36
スクリプト処理	36
関数とスクリプトステップ	37

# 第 1 章

## インストールを始める前に

このたびは FileMaker® ソフトウェアをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。FileMaker は情報を簡単、効果的に管理できるように設計されています。

### このガイドについて

この『インストールおよび新機能ガイド』では、FileMaker Pro 10 または FileMaker Pro 10 Advanced を Windows または Mac コンピュータにインストールする方法を説明し、これらのソフトウェアの新機能をご紹介します。

**注意** このガイドでは、FileMaker Pro Advanced の特定の機能を説明する場合以外は、「FileMaker Pro」を、FileMaker Pro と FileMaker Pro Advanced の両方を指すものとして使用しています。

『FileMaker Pro ユーザーズガイド』には、すぐに効率的な作業に取り組むために必要な情報が記載されています。FileMaker Pro の使用経験がない場合は、『FileMaker Pro チュートリアル』を行って、主要な機能を試してみてください。あらゆる情報を網羅した手順ごとの操作と詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

『FileMaker Pro Advanced デベロップメントガイド』では、FileMaker Pro Advanced で利用できる追加機能が紹介されています。メニューのカスタマイズ、テーブルのコピーとインポート、強化されたデータベース デザイン レポート、データビューアでのフィールド、変数、式の監視など、新機能も説明されています。

**注意** ある機能または手順が特定のプラットフォームを対象としている場合は、説明および図もそのプラットフォームに固有の内容です。両方のプラットフォームに共通する機能や手順については、Windows または Mac OS のいずれかの図が表示されます。

このガイドについてのフィードバックをお送りになる場合は [www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) を参照してください。

## サポートと製品情報

テクニカルサポートとカスタマサービスに関する情報については、[www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) を参照してください。

既成のソリューションやテクニカルサポートインフォメーション、および FileMaker Knowledge Base などの FileMaker の Web サイトにあるリソースにアクセスするには、[ヘルプ] メニュー から [リソースセンター] を選択します。

インターネット接続がない場合には、製品に同梱されている『FileMaker Customer Services』ドキュメントを参照してください。

## 更新の通知

FileMaker Pro 10 は 7 日ごとにソフトウェアの更新を自動チェックします。インターネットに接続することができる場合は、更新 Web ページにアクセスし、ソフトウェアの更新をダウンロードできます。[ヘルプ] メニュー から [ダウンロードと更新] を選択して、後から更新することができます。

**注意** この機能では、ソフトウェアはインストールされません。アップデータソフトウェアへのアクセスとダウンロードには、インターネットへの接続が必要です。

更新の通知を無効にするには、次のいずれかの操作を行います。

- [更新の通知] ダイアログボックスで、[更新を自動チェックしない] を選択して [はい] をクリックします。
- Windows の場合、[編集] メニュー から [環境設定...] を選択します。Mac OS の場合は、[FileMaker Pro] メニュー から [環境設定...] を選択します。[一般] タブで [7 日ごとに更新を自動チェック] オプションの選択を解除します。更新の通知を再び有効にするには、この設定を選択します。

更新の通知を無効にすると、[更新の通知] ダイアログボックスは表示されません。

## ライセンスキーについて

FileMaker ソフトウェアには、35 桁の英数字の固有のライセンスキーが付属します。ライセンスキーを、紛失しないようご注意ください。ライセンスキーは、ソフトウェアの再インストールが必要な場合に備えて安全な場所に保管することをお勧めします。

ライセンスキーは、CD ケースの裏にあります。ソフトウェアをインストールならびにアクティベートするには、有効なライセンスキーを入力する必要があります。ソフトウェアのアクティベーションについては、29 ページの「FileMaker Pro のアクティベーション」を参照してください。

ライセンスキーは、一度に 1 台のコンピュータで本ソフトウェアのコピー 1 部の使用が許諾されるエンドユーザライセンスアグリーメントに従うために使用されます。詳細については、ソフトウェアをインストールしたアプリケーションフォルダにある FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のソフトウェアライセンスを参照してください。ライセンスキーが無効、または同一のライセンスキーによりインストールされたアプリケーションがネットワーク上の別のコンピュータで実行されている場合、FileMaker Pro アプリケーションによって、次のエラーメッセージが表示されます。「現在、最大登録者数でこの FileMaker Pro を使用しています。」

このエラーメッセージが表示された場合、入力されたライセンスキーがすでに使用されていることを示しています。複数のコンピュータに FileMaker Pro をインストールするには、各ユーザに個別のライセンスキーを使用するか、ボリュームライセンスアグリーメントに基づいてライセンスを取得する必要があります。ユーザ 1 人に対して FileMaker Pro を 1 部ずつ購入する必要があります。

## 必要なハードウェアとソフトウェア

**重要** FileMaker では、この『インストールおよび新機能ガイド』の作成時に、次に示した Windows および Mac OS オペレーティングシステムで FileMaker Pro 10 をテストしています。オペレーティングシステムのより新しいリリースでは、FileMaker Pro は動作する場合がありますが、動作しない場合もあります。より新しいオペレーティングシステムの詳細については、[www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) を参照してください。

FileMaker Pro をインストールして使用するには、次のハードウェアとソフトウェアが最低限必要です。

### Windows の必要条件

- Windows Vista SP1 Home、Business、または Ultimateの場合、Pentium III 800 MHz 以上、512MB の RAM
- Windows XP SP2 の場合、Pentium III 700 MHz 以上、256MB の RAM
- SVGA（1024x768）以上の解像度のビデオアダプタおよびディスプレイ

### Mac OS の必要条件

- PowerPC G4 以上のプロセッサを搭載した Macintosh コンピュータ、または Intel ベースの Macintosh コンピュータ
- Mac OS X バージョン 10.5、512 MB の RAM
- Mac OS X バージョン 10.4.11、256 MB の RAM

**注意** PowerPC 向けに作成された Mac OS プラグインを Intel ベースの Mac コンピュータでネイティブに実行するためには、ユニバーサルバイナリとして再コンパイルする必要があります。ユニバーサルバイナリによって、アプリケーションは、PowerPC と Intel ベースの Macintosh コンピュータ両方でネイティブに実行できます。Intel ベースの Macintosh 上で FileMaker Pro 10 で使用する必要がある FileMaker Pro の旧バージョンからのプラグインがある場合は、FileMaker Pro を Rosetta で実行するように設定できます。[Finder] で [FileMaker Pro] を選択して、[ファイル]メニュー から [情報を見る] を選択し、[Rosetta を使って開く] オプションを選択します。

### ネットワークを使用する場合の条件

ネットワーク上の他のコンピュータと FileMaker Pro ファイルを共有するため、FileMaker Pro 10 では、TCP/IP ネットワークプロトコルをサポートしています。コンピュータにインストールされていて使用中のネットワークプロトコルが不明な場合は、インストールを開始する前にネットワーク管理者に確認してください。

ネットワークに接続するには、コンピュータにネットワークカードが装着されていて、必要なソフトウェアがインストールされている必要もあります。

FileMaker Pro ネットワーク共有では、(ホストならびにインスタント Web 公開接続を除く)最大 9 人までのユーザが同時に共有ファイルにアクセスすることができます。ネットワーク上で 9 人より多くのユーザで同時にファイルを共有するには、さらに利用しやすく、セキュリティが強化され、パフォーマンスの向上した FileMaker Server の使用をお勧めします。FileMaker Server の詳細については、[www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) を参照してください。

## Web 上でデータベースを公開する場合の条件

FileMaker Pro インスタント Web 公開を使用して Web 上でデータベースを公開するには、TCP/IP 経由で接続されているインターネットまたはイントラネットにアクセスできるホストコンピュータが必要です。

FileMaker Pro のインスタント Web 公開では、同時に最大 5 名のユーザがデータベースを共有することができます。さらに多くの Web 統合と接続のためには、インスタント Web 公開、カスタム Web 公開、および ODBC と JDBC クライアントをサポートする FileMaker Server Advanced をご使用ください。FileMaker Server Advanced の詳細については、[www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) を参照してください。

**注意** インターネットにアクセスするにはインターネットサービスプロバイダ (ISP) が必要です。FileMaker Pro ではインターネットアカウントは提供されません。

## 他の機能を使用するための条件 (Windows)

Windows 用の FileMaker Pro の機能を利用するには、以下のソフトウェアが必要です。

機能	必要なソフトウェア
電子メールアプリケーションを使用した[メールを送信]スクリプトステップ	Microsoft Exchange、Microsoft Outlook、Microsoft Outlook Express および Eudora <b>注意</b> この必要条件是 SMTP メールには適用されません。
電話をかける	ダイヤラまたは他の Telephony API (TAPI) 対応のソフトウェア
ODBC 機能	Microsoft Data Access Components (MDAC) バージョン 2.8 SP1 (Windows XP) または Windows DAC 6.0 (Windows Vista)。MDAC ソフトウェアを更新するには、Microsoft 社のホームページを参照してください。 FileMaker Pro をクライアントアプリケーションとして使用して外部データソースにアクセスするには、使用中のデータソース用のサードパーティのドライバが必要です。 ODBC の情報については、 <a href="http://www.filemaker.co.jp">www.filemaker.co.jp</a> を参照してください。
QuickTime ムービーおよび画像ファイルの挿入	QuickTime 7.5 ソフトウェア ( <a href="http://www.apple.com">www.apple.com</a> から入手することができます)

## 他の機能を使用するための条件 (Mac OS)

Mac OS 用の FileMaker Pro の機能を利用するには、以下のソフトウェアが必要です。

機能	必要なソフトウェア
電子メールアプリケーションを使用した[メールを送信] スクリプトステップ	Microsoft Exchange、Mac OS Mail メールクライアントソフトウェア <b>注意</b> この必要条件は SMTP メールには適用されません。
ODBC 機能	FileMaker Pro をクライアントアプリケーションとして使用して外部データソースにアクセスするには、使用中のデータソース用のサードパーティのドライバが必要です。 ODBC の情報については、 <a href="http://www.filemaker.co.jp">www.filemaker.co.jp</a> を参照してください。
Bento <sup>®</sup> からファイルをインポート	Bento 2 以降のサポートされるバージョン ( <a href="http://www.filemaker.co.jp">www.filemaker.co.jp</a> から入手することができます)
QuickTime ムービーおよび画像ファイルの挿入	QuickTime 7.5 ソフトウェア ( <a href="http://www.apple.com">www.apple.com</a> から入手することができます)

## Windows でサポートされていない機能

Windows 用の FileMaker Pro では、[AppleScript を実行] および [読み上げ] スクリプトステップはサポートされていません。また、Bento からのファイルのインポートはサポートされていません。

## Mac OS X でサポートされていない機能

Mac OS X 用の FileMaker Pro では、[電話をかける]、[オブジェクトを挿入]、[DDE コマンドを送信]、および [リンクの更新] スクリプトステップはサポートされていません。

## 旧バージョンのファイルの開き方

FileMaker Pro 10 では、旧バージョンの FileMaker Pro で作成されたファイルを開くことができます。詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

## FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード

FileMaker Pro を旧バージョンからアップグレードする場合、アンインストールする前に新しいバージョンへアップグレードすることをお勧めします。

FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード手順

1. CD ケースの裏にある 35 桁のライセンスキーを使用してアップグレード版をインストールします。
2. プラグイン、辞書の情報、および FileMaker の新しいバージョンの環境設定を移動します。
3. 最新バージョンのみをご使用になる場合は、旧バージョンのアクティベーションを解除してからアンインストールします。詳細については、32 ページの「FileMaker Pro のアクティベーションの解除」を参照してください。

最新バージョンへアップグレードする前に、旧バージョンのアンインストールを選択する場合、旧バージョンのライセンスキーを必ず用意してください。アップグレード用のライセンスキーで FileMaker Pro をインストールする場合、インストーラはインストールするコンピュータのハードドライブから旧バージョンを検索します。旧バージョンが見つからなかった場合は、旧バージョンのライセンスキーを入力するよう求められます。

## ユーザ辞書の更新

旧バージョンの FileMaker Pro でユーザ辞書に単語を追加した場合は、FileMaker Pro 10 でもその辞書を使用することができます。ユーザ辞書の変換の詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

## ボリュームライセンスでのインストール

ボリュームライセンスで複数の FileMaker Pro をインストールする場合、またはサイレントインストールを行いたい場合は、処理を自動化することができます。FileMaker Pro CD に含まれている「Assisted Install.txt」ファイルを使用して、インストールダイアログボックスをバイパスすることができます。詳細については、『FileMaker Pro ネットワークインストールセットアップガイド』を参照してください。ボリュームライセンスの詳細については、[www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) を参照してください。



# 第2章

## Windows での FileMaker Pro のインストール

インストール作業を開始する前に、実行中のプログラムをすべて終了し、作業内容を保存してください。FileMaker Pro の最新情報については、CD の内容を参照して「お読みください」を読むか、[www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) を参照してください。

### インストール参考事項

FileMaker Pro をインストールする前に、次の参考事項を確認してください。

- FileMaker Pro をインストールするには、管理者権限が必要で、管理者のユーザ名ならびにパスワードを使用する必要があります。
- ご使用のコンピュータでウイルス保護ソフトウェアが実行されている場合は、FileMaker Pro をインストールする前に終了し、インストール後に再度実行してください。

- デフォルトでは、FileMaker Pro は次のフォルダにインストールされます。

C:\Program Files\FileMaker\FileMaker Pro 10

インストール中に別のドライブまたは別のフォルダを選択することができます。

- デフォルトでは、FileMaker Pro Advanced は次のフォルダにインストールされます。

C:\Program Files\FileMaker\FileMaker Pro 10 Advanced

インストール中に別のドライブまたは別のフォルダを選択することができます。

- インストール中に、すべてのプログラム機能をインストールする [すべて]、またはプログラムの一部をインストールする [カスタム] を選択します。たとえば、ディスクの空き容量を確保するために、特定の機能をインストールしないこともできます。
- インストールの開始時に、FileMaker Pro インストーラの言語バージョンを選択します。デフォルトで選択される言語バージョンは、オペレーティングシステムの言語と同じです。[すべて] でインストールする場合は、選択した言語バージョンのみがインストールされます。[カスタム] を選択し、サポートされている言語の一覧から他の言語パックを選択することで、追加の言語バージョンをインストールできます。
- アップグレードインストールまたはソフトウェアアップグレードの実行前に、FileMaker ソフトウェアはハードドライブおよびシステムに接続しているボリュームすべてをスキャンして旧バージョンを検索します。複数のドライブまたはボリュームがある場合は、このスキャンに数分かかる場合があります。

## FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールするには、インストールプログラムを使用する必要があります。ファイルをハードディスクにドラッグしても、FileMaker Pro はインストールできません。

インストールされたすべてファイルのレジストリエントリとパスの一覧を記録したインストールログファイルを作成する場合は、FileMaker Pro をコマンドラインからインストールする必要があります。18 ページの「コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール」を参照してください。

FileMaker Pro をハードディスクにインストールするには:

1. 次の操作を行います。
  - CD-ROM を CD-ROM ドライブまたは DVD ドライブに挿入します。



- [FileMaker CD] ウィンドウが開いてから、[インストール] アイコンをクリックします。



2. 画面上の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。

インストールに関する問題の詳細については、15 ページの「インストール参考事項」を参照してください。

3. インストールが終了したら、[完了] をクリックします。

[ユーザ登録] ダイアログボックスが表示されます。

## FileMaker Pro の登録

ご購入いただいた製品について、テクニカルサポートやバージョンアップサービスを受けるためには、ユーザ登録を行っていただく必要があります。プロンプトに従って、登録、製品、および詳細情報を入力します。

FileMaker Pro の評価版を試用している場合は、使用する前にソフトウェアを登録する必要があります。

FileMaker Pro の [ヘルプ] メニューから [ユーザ登録] を選択して、登録することもできます。

## コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール

コマンドラインから FileMaker Pro をインストールして、インストールログファイルを作成するには、次の操作を行います。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブまたは DVD ドライブに挿入します。
2. コマンドウィンドウを開きます。
3. コマンドウィンドウで、次のコマンドを入力します。

```
E:¥Files¥setup.exe /v"/Lr  
C:¥FMP10InstallLog.txt"
```

「E:」は、CD-ROM ドライブまたは DVD ドライブです。CD-ROM ドライブまたは DVD ドライブに別のドライブ文字を使用する場合は、その文字を「E」の代わりに入力します。

4. 画面の指示に従います。

「FMP10InstallLog.txt」ファイルがハードディスクのルートディレクトリに作成されます。このファイルは、ワードパッドまたはワードプロセッサプログラムで表示することができます。

### Bonjour のインストールについて

Bonjour のサービスを使用すると、IP ネットワーク上のコンピュータ、デバイス、およびサービスを自動で検出することができます。リモートホストを検出できるようにするには、Bonjour をインストールする必要があります。

Bonjour がインストールされていないか、またはサービスが実行中でない場合、FileMaker Pro はリモートネットワークを検出することができません。たとえば、[共有ファイルを開く]ダイアログボックス内でホストされているデータベースを表示したり、外部データソースとして使用するリモートファイルの一覧を表示できません。

Bonjour がない場合は、リモートデータベースの IP アドレスを手動で入力する必要があります。

FileMaker Pro のインストール中、インストーラは次の手順を使用します。

- Bonjour が検出されない場合は、インストーラによって警告が表示され、Bonjour をインストールするようメッセージが表示されます。
- FileMaker でサポートされていないバージョンの Bonjour のインストールが検出された場合は、インストーラによって警告が表示されます。Bonjour を手動でアンインストールし、FileMaker でサポートされているバージョンの Bonjour を手動でインストールするようメッセージが表示されます。
- FileMaker でサポートされているバージョンの Bonjour のインストールが検出された場合は、インストーラによる警告は表示されず、Bonjour のインストールは行われません。

Bonjour を手動でインストールするには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro インストールフォルダを開きます。
2. 「Bonjour」フォルダを開きます。
3. Windows のバージョンに基づいて 32 ビットまたは 64 ビットフォルダを開きます。
4. Bonjour セットアップアイコンをダブルクリックします。
5. 画面の指示に従って Bonjour をインストールします。

## ハードディスク上でのファイルの保存場所

FileMaker Pro インストーラにより、オペレーティングシステムおよび選択したインストールオプションに応じて、ハードディスク上の複数のフォルダにファイルがコピーされます。コマンドラインインストールを実行してインストールログファイルを指定した場合は、インストールされた各ファイルの保存場所を記録したインストールログファイルを参照することができます。

## FileMaker Pro 10 の削除、変更、または修復

**重要** FileMaker Pro のアンインストールを行う前に、ソフトウェアのアクティベーションを解除してください。詳細については、32 ページの「FileMaker Pro のアクティベーションの解除」を参照してください。

Windows XP のコントロールパネルの [プログラムの追加と削除]、または Windows Vista のコントロールパネルの [プログラムと機能] を使用して、FileMaker Pro を削除したり、失われたファイルや壊れたファイルを自動的に修復したり、インストールする機能を変更することができます。詳細については、Windows ヘルプを参照してください。

FileMaker Pro を変更または修復する場合は、ライセンスキーを入力するようプロンプトが表示されることがあります。

## FileMaker Pro のキャッシュサイズの変更

FileMaker Pro は、データベースの一部を内部キャッシュに保持します。使用しているコンピュータのメモリ設定によっては、キャッシュサイズを変更してコンピュータのパフォーマンスを向上させることができます。

次のような場合、キャッシュサイズを増加することをお勧めします。

- 作業するデータベースファイルのサイズが大きい場合
- 複数のデータベースファイルで同時に作業する場合
- ホストとしてデータベースファイルを開く場合
- 多数のグラフィックを含むデータベースファイルを使用する場合
- データベースファイルにサイズの大きいグラフィックを挿入する場合

限られたメモリ (RAM) 量で複数のアプリケーションを同時に起動する場合は、キャッシュサイズを削減することをお勧めします。

**注意** FileMaker Pro に割り当てるキャッシュサイズを増減させると、FileMaker Pro の実行に必要なメモリ量も増減します。

メモリ管理方法の詳細については、コンピュータに付属のドキュメントを参照してください。

FileMaker Pro で使用するキャッシュサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro の [編集] メニューから [環境設定...] を選択します。  
[環境設定] ダイアログボックスが表示されます。
2. [メモリ] タブをクリックします。
3. [ファイルキャッシュの変更:] ボックスに数値を入力してから、[OK] をクリックします。

次回 FileMaker Pro を起動すると、指定したキャッシュサイズが使用されるようになります。

## この後の作業を開始するにあたって

FileMaker Pro のインストール終了後、アプリケーションで直ちに作業を開始することができます。実際の作業に取りかかる前に、以下を参考にしてください。

- データベースを初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro ユーザーズガイド』の第2章「データベースの使用」および第3章「データベースの作成」をお読みください。ここではデータベースの基本概念が説明されています。
- FileMaker Pro を初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro チュートリアル』のレッスンを行ってください。チュートリアルの PDF ファイルとサンプルファイルは、「日本語エキストラ」フォルダ内の「チュートリアル」フォルダにあります。
- FileMaker Pro の使用経験がある方は、このガイドの第5章の「新機能」をお読みください。FileMaker Pro 10 で利用できる新しい機能の概要が紹介されています。
- 既成のソリューションやテクニカルサポートインフォメーション、および FileMaker Knowledge Base などの FileMaker の Web サイトにあるリソースにアクセスするには、[ヘルプ] メニューから [リソースセンター] を選択してください。

- FileMaker Pro Advanced をすでに利用しているユーザは、『FileMaker Pro Advanced デベロップメントガイド』および FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

# 第 3 章

## Mac OS での FileMaker Pro のインストール

インストール作業を開始する前に、実行中のプログラムをすべて終了し、作業内容を保存してください。FileMaker Pro の最新情報については、CD の内容を参照して「お読みください」を読むか、[www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) を参照してください。

### インストール参考事項

FileMaker Pro をインストールする前に、次の参考事項を確認してください。

- FileMaker Pro をインストールするには、管理者権限が必要で、管理者のユーザ名ならびにパスワードを使用する必要があります。
- ご使用のコンピュータでウイルス保護ソフトウェアが実行されている場合は、FileMaker Pro をインストールする前に終了し、インストール後に再度実行してください。
- インストール中に、すべてのプログラムファイルをインストールする [簡易インストール]、またはプログラムの一部をインストールする [カスタムインストール] を選択します。たとえば、ディスクの空き容量を確保するために、特定の機能をインストールしないこともできます。
- [簡易インストール] を選択した場合は、オペレーティングシステムと同じ言語の FileMaker Pro がインストールされます。[カスタムインストール] を選択し、サポートされている言語の一覧から他の言語パックを選択することで、追加の言語バージョンをインストールできます。

- アップグレードインストールまたはソフトウェアアップグレードの実行前に、FileMaker ソフトウェアはハードドライブおよびシステムに接続しているボリュームすべてをスキャンして旧バージョンを検索します。複数のドライブまたはボリュームがある場合は、このスキャンに数分かかる場合があります。

## FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールするには、インストールプログラムを使用する必要があります。ファイルをハードディスクにドラッグしても、FileMaker Pro はインストールできません。

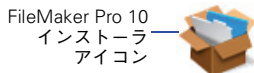
FileMaker Pro をハードディスクにインストールするには:

1. 次の操作を行います。
  - CD-ROM を CD-ROM ドライブまたは DVD ドライブに挿入します。



- [FileMaker CD] ウィンドウを開きます。

2. FileMaker Pro のインストールアイコンを探してダブルクリックします。



3. プロンプトが表示されたら、Mac OS の管理者ユーザ名とパスワードを入力します。
4. 画面の指示に従って、FileMaker Pro をインストールします。

インストールに関する問題の詳細については、23 ページの「インストール参考事項」を参照してください。

5. インストールが終了したら、[終了]をクリックします。

インストールが終了すると、ユーザ登録ダイアログボックスが表示されます。

## FileMaker Pro の登録

ご購入いただいた製品について、テクニカルサポートやバージョンアップサービスを受けるためには、ユーザ登録を行っていただく必要があります。プロンプトに従って、登録、製品、および詳細情報を入力します。

FileMaker Pro の評価版を試用している場合は、使用する前にソフトウェアを登録する必要があります。

FileMaker Pro の [ヘルプ] メニューから [ユーザ登録] を選択して、登録することもできます。

## ハードディスク上でのファイルの保存場所

FileMaker Pro インストーラにより、オペレーティングシステムおよび選択したインストールオプションに応じて、ハードディスク上の複数のフォルダにファイルがコピーされます。インストールが完了したら、「FileMaker Pro 10」フォルダ内にある「Installer Log File」を表示することができます。このログファイルには、インストールされた各ファイルの保存場所が記録されています。このファイルは、テキストエディットまたはワードプロセッサプログラムで表示することができます。

## ODBC クライアントドライバのインストール

FileMaker Pro の ODBC サポートを使用することで、Oracle のデータベースなど、コンピュータやネットワーク上の他のアプリケーションからデータを操作することができます。ODBC の使用法や、ドライバのベンダーなどの情報については、[www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) を参照してください。

## FileMaker Pro 10 のアンインストール

**重要** FileMaker Pro をアンインストールする前に、ソフトウェアのアクティベーションを解除してください。詳細については、32 ページの「FileMaker Pro のアクティベーションの解除」を参照してください。

FileMaker Pro 10 をアンインストールするには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro 10 のアクティベーションを解除します。
2. FileMaker Pro 10 または FileMaker Pro 10 Advanced フォルダとすべての内容をアプリケーションフォルダからゴミ箱にドラッグします。
3. FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced の環境設定ファイルをゴミ箱にドラッグします。

環境設定ファイルのパス名は、次のとおりです。

FileMaker Pro の場合 : <ホーム>/ライブラリ /Preferences/  
FileMaker Preferences/ FileMaker Pro 10.0 Prefs

FileMaker Pro Advanced の場合 : <ホーム>/ライブラリ /  
Preferences/FileMaker Preferences/ FileMaker Pro 10.0A Prefs

## FileMaker Pro のキャッシュの調整

Mac OS では必要に応じて動的にアプリケーションにメモリが割り当てられるため、FileMaker Pro アプリケーションに特定の量のメモリを割り当てるように設定することはできません。ただし、FileMaker Pro のキャッシュサイズを調整することは可能です。

次のいずれかの項目を実行する場合は、キャッシュサイズを増やすことができます。

- 作業するデータベースファイルのサイズが大きい場合
- 複数のデータベースファイルで同時に作業する場合
- ホストとしてデータベースファイルを開く場合
- 多数のグラフィックを含むデータベースファイルを使用する場合
- データベースファイルにサイズの大きいグラフィックを挿入する場合

限られたメモリ (RAM) 量で複数のアプリケーションを同時に起動する場合は、キャッシュサイズを削減することをお勧めします。

FileMaker Pro で使用するキャッシュサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro で [FileMaker Pro] メニューから [環境設定...] を選択して、[メモリ] タブをクリックします。[ファイルキャッシュの変更:] ボックスに数値を入力してから、[OK] をクリックします。

次回 FileMaker Pro を起動すると、指定したキャッシュサイズが使用されるようになります。

## この後の作業を開始するにあたって

FileMaker Pro のインストール終了後、アプリケーションで直ちに作業を開始することができます。実際の作業に取りかかる前に、以下を参考にしてください。

- データベースを初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro ユーザーズガイド』の第2章「データベースの使用」および第3章「データベースの作成」をお読みください。ここではデータベースの基本概念が説明されています。
- FileMaker Pro を初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro チュートリアル』のレッスンを行ってください。チュートリアルの PDF ファイルとサンプルファイルは、「日本語エキストラ」フォルダ内の「チュートリアル」フォルダにあります。

- FileMaker Pro の使用経験がある方は、このガイドの第 5 章の「新機能」をお読みください。FileMaker Pro 10 で利用できる新しい機能の概要が紹介されています。
- 既成のソリューションやテクニカルサポートインフォメーション、および FileMaker Knowledge Base などの FileMaker の Web サイトにあるリソースにアクセスするには、[ヘルプ]メニューから [リソースセンター] を選択してください。
- FileMaker Pro 10 Advanced をすでに利用しているユーザは、『FileMaker Pro Advanced デベロップメントガイド』および FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

# 第 4 章

## FileMaker Pro の アクティベーション

FileMaker Pro ソフトウェアでは、オンラインのアクティベーション技術を使用して、ユーザまたは企業（事業所）に正規の FileMaker ソフトウェアがあることを確実にします。アクティベーションは、不正なソフトウェア頒布から FileMaker, Inc. を保護するためにも役立ちます。

**注意** ボリュームライセンスプログラムで FileMaker Pro をお買い上げいただいている場合は、ソフトウェアのアクティベーションは必要はありません。

### FileMaker Pro のアクティベーションについて

FileMaker Pro をアクティベートするまでは、アプリケーションを開始するたびに [FileMaker アクティベーション] ダイアログボックスが表示されます。アクティベーションプロセス中は、FileMaker アクティベーションサーバーによって、お客様のコンピュータからライセンスキーおよび固有のマシン ID が取得されます。このプロセスから、お客様の個人情報が収集されることはありません。

アクティベーションプロセスでは、同時使用ではない最大 2 台のコンピュータ上で FileMaker Pro の使用がサポートされます。詳細については、ソフトウェアをインストールしたアプリケーションフォルダにある FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のソフトウェアライセンスを参照してください。

## インターネット経由でのソフトウェアのアクティベーション

次の表を使用して、インターネット経由で FileMaker Pro のアクティベーションを行います。電話で FileMaker Pro のアクティベーションを行うには、31 ページの「電話によるソフトウェアのアクティベーション」を参照してください。

目的	FileMaker Pro で実行する操作
起動時に FileMaker Pro をアクティベートする	[FileMaker アクティベーション] ダイアログボックスで、[アクティベート] をクリックします。
製品版ソフトウェアを後でアクティベートする	[FileMaker アクティベーション] ダイアログボックスで、[後でアクティベート] をクリックします。
製品版ソフトウェアを試用期間中にアクティベートする	[ヘルプ] メニュー から [アクティベート] を選択します。[FileMaker アクティベーション] ダイアログボックスで、[アクティベート] をクリックします。
評価版ソフトウェアをアクティベートする	起動時に、ダイアログボックスで [ライセンスキー] をクリックして、ライセンスキーを入力して、[アクティベート] をクリックします。ソフトウェアを使用している場合は、[ヘルプ] メニュー から [アクティベート] を選択します。[FileMaker アクティベーション] ダイアログボックスで、ライセンスキーを入力して、[アクティベート] をクリックします。評価版のアクティベーションの詳細については、32 ページの「ソフトウェア評価版のアクティベーション」を参照してください。
FileMaker Pro ソフトウェアのアクティベーションを解除する	[ヘルプ] メニュー から [アクティベーションの解除...] を選択します。ソフトウェアを電話でアクティベートした場合は、電話でのみアクティベーションを解除できます。電話でのアクティベーションまたはアクティベーションの解除の詳細については、31 ページの「電話によるソフトウェアのアクティベーション」を参照してください。 <b>重要</b> FileMaker Pro をアンインストールするには、その前にアクティベーションを解除する必要があります（たとえば、後から別のコンピュータ上にインストールする場合、または使用中のオペレーティングシステムをアップグレードする場合など）。ソフトウェアのアクティベーションの解除の詳細については、32 ページの「FileMaker Pro のアクティベーションの解除」を参照してください。

## 電話によるソフトウェアのアクティベーション

インターネットに接続していないか、ネットワークセキュリティ上の制限が原因で FileMaker Pro をオンラインでアクティベーションを行えない場合は、電話でソフトウェアのアクティベーションを行うことができます。

まだソフトウェアのアクティベーションを行っていない場合で、インターネットにも接続していない場合は、アプリケーション起動時に、[電話で FileMaker アクティベーション]ダイアログボックスが表示されます。画面に表示されるダイアログボックスを使用して、FileMaker Customer Assistance にお問い合わせください。電話番号は製品に同梱されている『FileMaker Customer Services』ドキュメントに記載されています。リクエストコードおよびライセンスキーを尋ねられます。カスタマサポートより該当する応答コードが提供され、ソフトウェアはアクティベートされます。

**注意** 電話でソフトウェアのアクティベーションを行った場合は、電話でアクティベーションを解除する必要があります。詳細については、32 ページの「FileMaker Pro のアクティベーションの解除」を参照してください。

## アクティベーションの試用期間について

最初に FileMaker Pro を起動した際にインターネットに接続していなかった場合でも、アクティベーションの試用期間の 30 日間は FileMaker Pro を使用できます。試用期間の間はソフトウェアを開くたびに、試用期間の残り日数を示すアクティベーションダイアログボックスが表示されます。

試用期間後に FileMaker Pro の使用を続行するには、インターネットまたは電話でアクティベーションプロセスを完了させる必要があります。

**注意** 評価版には、アクティベーションの試用期間はありません。ソフトウェアの使用を続行するには、評価期間内にソフトウェアを購入する必要があります。

## ソフトウェア評価版のアクティベーション

アクティベーションの仕組みは、評価版および購入されたソフトウェアでは異なります。評価のユーザには、ソフトウェアを購入するまでに評価期間（通常 30 日）が与えられます。この評価期間内は、いつでもソフトウェアを購入して、起動時にライセンスキーを入力することでソフトウェアをアクティベートすることができます。評価期間の終了後にソフトウェアの使用を続けるためには、ソフトウェアを購入してすぐにアクティベートする必要があります。

## FileMaker Pro のアクティベーションの解除

何らかの理由で FileMaker Pro をアンインストールする必要がある場合は、その前にまずソフトウェアのアクティベーションを解除してください。これにより、他のコンピュータにアクティベーションを移したり、現在使用中のコンピュータのオペレーティングシステムをインストールまたはアップグレードした後に再度アクティベートすることができます。

FileMaker Pro のアクティベーションを解除し、アンインストールするには、次の操作を行います。

1. 現在使用中のマシンで、FileMaker Pro ソフトウェアのアクティベーションを解除します。
  - インターネット経由でアクティベートした場合は、[ヘルプ]メニューから[アクティベーションの解除...]を選択してアクティベーションを解除します。
  - 電話でアクティベートした場合は、電話でアクティベーションを解除する必要があります。コンピュータを起動した状態で、ソフトウェアをアクティベートした際に使用した電話番号と同じ番号を使用して、FileMaker Customer Assistance に電話します。[電話で FileMaker アクティベーション]ダイアログボックスに表示される、応答コードおよびライセンスキーを尋ねられます。
2. 現在使用中のマシンから、FileMaker Pro ソフトウェアをアンインストールします。

## 注意

- FileMaker Pro を同じマシン、または別のマシンに再インストールする場合、再インストール後にソフトウェアのアクティベーションを行います。
- ソフトウェアのアクティベーションの解除を行わずに FileMaker Pro の同じコピーを別のマシンに後からインストールしたり、オペレーティングシステムの再フォーマットを行って FileMaker Pro を再インストールすると 1 台のマシン用のアクティベーションサポートを失います。



# 第5章

## 新機能

この章では、FileMaker Pro 10 の新機能と改善点の概要について説明します。これらの機能の詳細については FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

### ユーザビリティの改善

- ステータスツールバー — ステータスエリアのデザインが変更され、FileMaker Pro ウィンドウの上部にツールバーとして表示されるようになりました。これを使用して、大部分の作業を実行できます。たとえば、検索モードまたはブラウズモードで検索条件を実行するには、ステータスツールバーを使用します。ステータスツールバー上にマウスポインタをドラッグすると、ポップアップヘルプが表示されます。
- 保存済み検索 — 複雑な検索条件を今後の FileMaker Pro セッションで使用するために保存したり、ステータスツールバーのボタンを使用して最近使った検索にアクセスすることができます。
- 検索モードにおける改善 — データベースの検索に使用できるフィールドを **Q** アイコンで表示するようになりました。
- レイアウトオブジェクトのポップアップヘルプ — ユーザがブラウズモードまたは検索モードでレイアウトオブジェクト上にポインタを移動したときに表示する説明テキストを、FileMaker Pro を使用して追加できるようになりました。
- FileMaker クイックスタート画面 — Excel ファイルや Bento 2 以降のサポートしているバージョンのファイルから FileMaker Pro データベースを作成できます。[詳細 ...] パネルから、ビデオや FileMaker チュートリアルなどの資料にアクセスできます。
- Starter Solutions の改善 — 更新された Starter Solution テンプレートを使用し、FileMaker Pro の新機能を活用してデータベースを作成できます。
- 詳細修復オプション — 破損が疑われるファイルに対して一貫性チェックを実行し、修復する特定のファイルコンポーネントを選択してファイルのステータスに関する情報を表示することができます。ファイル修復処理の実行中と実行後のどちらでも、詳細なファイル修復ログを表示できます。

- 動的な集計レポート — データ変更時にブラウザモードで、再計算された集計値をリアルタイムで表示できます。
- レイアウトスタイルの追加 — 新規レイアウト/レポートアシスタントで新しいレイアウトスタイルを選択して、より効果的なレポートを作成できます。
- ソート順 — レコードを対象レコードに追加するときに、新規レコードをソート順で表示します。

## 共有と協調

- ODBC データソース (外部 SQL ソース (ESS)) のサポート — Microsoft SQL Server 2008、Oracle 11g、および MySQL 5.1 Community Edition の SQL テーブルからのデータの表示、アクセス、使用が可能です。ODBC データソーステーブル内のフィールドを使用して値一覧を定義します。Windows 認証 (シングルサインオン) を使用して、Microsoft SQL Server からの ODBC データにアクセスします。ODBC データソースからの SQL でサポートされているタイムスタンプのデータに正確にアクセスします。
- Microsoft Excel 2007/2008 — データを Excel 2007/2008 形式のファイルとしてインポート/エクスポートできます。
- Bento 2 からのデータのインポートのサポート (Mac OS) — FileMaker Pro の標準のインポート手順を使用して、Bento 2 以降のサポートしているバージョンのデータソースから FileMaker Pro のファイルに情報を転送できます。
- SMTP による電子メールの直接送信のサポート — [ファイル] メニューから [メールを送信 ...] を選択するか、スクリプトを使用して、電子メールクライアントソフトウェアを使用せずに FileMaker Pro ファイルから直接電子メールメッセージを送信できます。

## スクリプト処理

- スクリプトトリガー — ユーザまたはスクリプトによるフィールドの入力、変更、終了時、キー入力、フィールド修正、レコード確定などの特定のイベントの発生時に、スクリプトを実行するように指定できます。

- スクリプトのユーザインターフェースの改善 — [スクリプトの管理] 機能 (旧バージョンでは **ScriptMaker**) を使用して、独自にスクリプトを作成する際に基礎として使用できるデフォルトのスクリプトを表示したり、個々のスクリプトステップが **Web 公開** や **FileMaker Server** のスケジュールでサポートされているかどうかを確認できるようになりました。[スクリプトの管理] ダイアログボックスは、**FileMaker Pro** ウィンドウが最大化されている場合に最大化の状態が開かなくなりました。
- エラー報告の改善 — 制御に関連するスクリプトステップで、**FileMaker Pro** が最後に報告したエラー状態がクリアされなくなりました。

## 関数とスクリプトステップ

- [OnTimer スクリプトをインストール] スクリプトステップ — 指定したスクリプトを指定した間隔で実行します。
- [保存済み検索を開く] スクリプトステップ — [保存済み検索を編集] ダイアログボックスを開きます。ここで、新しい検索ステートメントを作成したり、既存の検索ステートメントを編集することができます。
- [印刷] スクリプトステップ — スクリプトの実行時に、指定した対象プリンタを任意の長さの名前で保存できるようになりました。
- [フィールドを名前を設定] スクリプトステップ — If...Else 構造体で指定可能な各フィールド名を指定しなくても、計算式を使用してスクリプト内でフィールド名を動的に指定できるようになりました。
- Char (数値) 関数 — 指定した数値の Unicode ポイントを表す文字または文字列を返します。
- Code (テキスト) 関数 — 指定したテキスト文字の 1 つまたは複数の Unicode ポイントを数字形式で返します。
- GetFieldName (フィールド) 関数 — 完全修飾フィールド名を返します (テーブル名 :: フィールド名)。
- Get (ドキュメントパス一覧) 関数 — Get (ドキュメントパス) 関数で返されたフォルダにあるファイルおよびフォルダの再帰リストを返します。

- Get (トリガキー入力) 関数 — `OnObjectKeystroke` または `OnLayoutKeystroke` スクリプトトリガを有効にしたテキスト文字列を返します。
- Get (トリガ修飾キー) 関数 — スクリプトがトリガされたときの、キーボードの修飾キー (Shift キーや Control キーなど) の状態を返します。